

どり構
み進機
県推

クリスマスマズ元気

豪雨被災園児らにツリー贈る

7月の豪雨で被災した地域の園児らを元気付けようと、県みどり推進機構（今井敏理事長）は県内10カ所の保育施設にクリスマスツリーを寄贈し、2日、河北町のかほくあいこども園（八矢好幸園長、195人）で贈呈式が行われた。

ツリーは高さ約1・5メートル。子どもたちに本物の樹木に触れてもらおうと国産

のウラジロモミを用意し、1本ずつ鉢に入れて、村山と最上地方の認定こども園や幼稚園などに贈った。

贈呈式には年長の49人が参加。安達喜代美専務理事が松ぼっくりで作ったクマやウサギ、タヌキなどの飾りを園児に手渡し「元気を出して、楽しんでね」と声を掛けると、園児は大喜びでツリーを飾り付けた。矢



クリスマスツリーの飾り付けを楽しむ園児たち

＝河北町・かほくあいこども園